

古代学学術研究センター・研究会

# 古代のみやこを考える

日時： 5月14日（火） 18:00～19:30

会場： 奈良女子大学文学系S棟3階328演習室

報告： 四天王寺の構造と難波京

大杉綾花（奈良女子大学大学院 博士後期課程）

四天王寺は難波京内に存在し、考古学的・歴史地理学的見地から難波京との関連性が論じられることも多い寺院である。史料の上では、奈良時代において五大寺に次ぐ寺格を誇っていたことなどが知られているが、古代における四天王寺の構造や寺域については、関係する史料が限られていることもあり、明瞭でない部分も多い。

今回の研究報告では、『日本書紀』や『続日本紀』といった六国史、『四天王寺御手印縁起』や『天王寺秘訣』といった縁起等を参考にしつつ、各発掘機関の四天王寺、もしくはその周囲の発掘調査の成果をふまえて、古代四天王寺の構造と、難波京との関係性について検討したい。

事前申し込みは不要、参加費は無料です。

多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ先：奈良女子大学 館野和巳研究室（0742-20-3307）